

## 東浦町 1 人 1 台端末の利活用に係る計画

GIGA スクール構想の下で整備された 1 人 1 台端末を使って、東浦町の先生達は「個別最適化された」、「協働的な」授業づくりを目指して前向きに取り組んでいます。次の新しい端末を手にするとき、子どもたちも先生もわくわくして臨めるよう、本計画を基に、より一層のタブレット端末の利活用を推進します。

### 1. 1 人 1 台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

本町では、「指導の個別化」、「学習の個性化」の充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」を生み出す取り組みを実践しています。各学校の ICT 利活用の質を高めることで、これらの取り組みは子どもたちの可能性をこれまで以上に引き出すことができると考えています。

全ての学校で、1 人 1 台端末とクラウドツールを学習基盤とした、共有と双方向の他者参照で学び合う複線型の授業実践を通して、「令和の日本型学校教育」の構築を目指します。

### 2. GIGA 第 1 期の総括

本町では令和 2 年度に 1 人 1 台端末と校内無線 LAN ネットワーク環境、周辺機器等を整備しました。令和 3 年度から令和 5 年度にかけて、教育現場の要望を聞いてさまざまな授業支援アプリを導入し、教育委員会主催の研修を実施してきました。また、保護者連絡ツールのアプリを導入し、保護者と学校のより円滑なコミュニケーションはもちろん、教育委員会や本町のさまざまな課から小中学生向けの行事や子育てサービス等の情報等を共有するシステムを構築することができました。

このようにハード面・ソフト面ともに ICT 環境の整備を進めてきた成果として、ICT 端末を活用して本町で進めている個別化・個性化教育をさらに推進することができました。ICT 機器を身近な学習ツールとして活用する機会が増え、新しい学びの一つのスタイルとして定着しました。一方で、定期的な研修や校内研修等も実施していますが、教職員の端末操作や機器等の活用の習熟度には個人差があること、またその個人差が授業や児童生徒の学習に影響を与えていることが課題です。さらに担任や教科担任以外の必要な教職員全員にタブレットが足りていないことも課題です。そのため十分な端末数を含めたさらなる ICT 環境の整備、教職員の ICT 活用指導力の向上を目指す必要があります。

### 3. 1 人 1 台端末の利活用方策

以下の取組により本町の GIGA スクール構想を推進することで、個別最適な学びの実現を目指していきます。

- (1) インターネット等を活用し、児童生徒が自ら課題を見つけ、探究する教育活動を実施します。
- (2) 授業支援アプリや協働学習支援ツール等を積極的に活用し、児童生徒の学

習状況や課題の達成状況をリアルタイムに把握したり個別最適なフィードバックをしたりすることで、学習効果の高い教育活動を行います。

- (3) 特別な支援が必要な児童生徒や不登校の児童生徒、外国籍の児童生徒など、多様なニーズを抱えた児童生徒の学びを保障するため、クラウド型のサービスなどを活用して学校外でも学ぶことができる環境を整備します。